

Stand UP! NO.46

2017年6月8日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

明らかにになった経営姿勢 青年部の結集で打ち破るぞ!!

2017夏季手当

第4回交渉(会社の考え)

中央本部は6月8日に『2017夏季手当第4回交渉』を行いました。

会社の考え

- ・ 鉄道事業部門黒字化に対して感謝している。しかし、これからはコストも増える。期末手当は計画に立脚し、鉄事黒も継続したい。
- ・ 「新中期経営計画2021」の目標達成に向け厳しい状況が続く。収入増の努力もするが、現時点では「昨年実績並み」の考えである。

組合の主張

- ・ 要員不足でも必死に業務をこなして鉄事の黒字を達成し、今回の手当は注目され期待の声もある。その中で「昨年実績並み」の考えを示せば組合員、社員が失望する事を考えた事は無いのか!? 経営陣は職場の現実、努力をしっかりと見ろ!
- ・ そのような考えなら会社の未来に組合として責任は持てない。

社長発言の「手当は期待して下さい」やこの間の「鉄道事業黒字まで我慢してくれ」は何なのか!?虚偽報告は重い罰則になるが経営陣はいいのか!?このふざけた経営姿勢を質していかなければ、将来ずっとJR貨物で働いていく私たち青年部員はいつまでもたっても報われません!

経営陣の姿勢をなんとしても改めさせる為には青年部員一人ひとりの力が必要です!6月13日の全国統一職場集会日に結集して、職場に苦勞を押し付け続ける経営手法は重大な間違いである事を、何も分かっていない経営陣に分からせてやりましょう!!!